

深堀ふれあい祭りの開催について

前年は、コロナ禍での開催で、ふれあい広場のイベントのみ開催いたしましたが、今年も感染拡大が終息をしない状況のため、屋外のイベントのみを開催することにしています。

【ふれあい広場 物産販売】

11月14日(日) 午前9時～11時30分まで
 地場産品販売・本の無料配布・健康相談コーナー
 出店希望者は下記までお問い合わせください。
 問い合わせ先 深堀地区ふれあいセンター 871-2387



お詫び 学習グループの舞台発表と作品展示は、コロナ感染拡大の状況に加え、衆議院議員選挙と日程が重なる可能性が高く会場の調整が難しいことから、開催を断念いたしました。



◎訓練内容

深堀地区防災訓練 期日令和三年十二月五日(日) 午前中

- ◎各地区から避難所迄の移動訓練
 - ◎初期消火体験やAEDの使用訓練
 - ◎災害パネル展示や災害伝言ダイヤル
- そのほか、たくさんの方の体験と訓練ができるよう準備しています。
- 訓練の最後には、災害用備蓄食料の配布訓練と実際食べて頂き災害備蓄食品に関心をもって頂くような事も考えています。
- みんなで支え合い助け合う
 防災訓練を目指しましょう

町内では、一年おきに防災訓練と環境美化を実施しています。

今年には防災訓練の年となっておりますが、訓練は元気な人が行うものではなく、少し体に支障を感じている人が、避難所まで移動ができるかを試してみることが一番大事なことです。

この機会にぜひ、自宅から避難所までのルートを確認してみてください。

深堀地区では、避難に不安を持っておられる方の為に手伝いをして頂く、災害ボランティアを各自自治会にお願いして登録して頂いています。

不安を感じる方は、自治会長か民生児童委員に、ぜひ相談してみてください。



防災訓練を開催します

地域情報紙
 第11号

ふかほり

発行 深堀地区コミュニティ協議会
 所在 深堀地区ふれあいセンター内
 長崎市深堀町5丁目182番地
 電話 871-2387 fax 兼用
 令和3年9月発行

深堀地区敬老祝賀会の開催を中止しました

計画を立てる七月には、コロナ感染状況も一桁から日によってはゼロと、落ち着いた事から開催に向け準備を進めていました。今年も少し心配はありましたが、参加該当者の皆様は、コロナ予防ワクチンの接種もほぼ済んでいることから、感染対策を十分とりながらの開催は、可能との判断をしておりました。

しかしながら、皆様にご案内をする時期の、七月末から八月にかけての全国的な感染拡大が始まり、関係一同協議をした結果、大きなリスクを伴う祝賀会の開催は中止が妥当、との判断がされました。

二年続けての中止になりましたが、参加者の安全を何よりも優先しての判断となりました。

祝賀会は中止になりましたが、町内の希望でやさやかな記念品だけでもお届けさせて頂きました。

来年こそ何の心配もなく皆さんが集える、敬老祝賀会が開けることを願っています。



深堀地区コミュニティ協議会主催 健康ウォーキングを開催

深堀地区コミュニティ協議会では、コロナ禍が収まりを見せない中、三密を伴う屋内での活動を控え健康的に屋外でのウォークを計画しました。体力に合わせて参加できるよう、コースの設定も三段階にしていますので、ぜひ参加してみませんか。

実施日が異なりますので、三コースとも参加することも可能です。

◎各コースに看護師一名とサポート要員数名の同行を予定しています。

- 城山登山コース 定員15名 (お茶、弁当、タオル他)
 期日: 11月7日(日) 午前9時 深堀地域センター前出発
- 香焼運動公園コース 定員20名 (お茶、弁当、タオル他)
 期日: 11月21日(日) 午前9時30分 深堀地域センター前出発
- 八郎岳登山コース 定員15名 (お茶、弁当、タオル他)
 期日: 11月28日(日) 午前9時 深堀地域センター前出発

*各コースとも10月20日(水)までに深堀ふれあいセンターへ申込下さい。詳細についての問い合わせもふれあいセンターへ(871-2387)



ふれあい食事会の再開について

高齢者の皆さんに、楽しく参加して頂いている「ふれあい食事会」も、コロナ感染拡大を受けて中止となり、すぐにでも再開できるかと思つていました。次から次と感染拡大の波が大きくなるばかりです。

食事会に参加をされる方は、食事の楽しみもさることながら、友達との会話や、新しい仲間づくりを目的に参加されていると思います。

再開に向け機会をうかがっているところですが、まずは参加者の安心安全を第一に、万全な状態に戻ってからの再開となりそうです。

高齢者のワクチン接種もおおよそ終了したことから、十一月から通常の食事会を再開する予定ですが、現状を見る限り、安心な食事会が開催できる状況になるのか先が読めないところです。

再開の折は、地域の民生・児童委員の皆さんからお誘いしますので、皆さんで楽しい食事会になるようご参加をお願いします。

高齢者サロン開始に向け準備中です

昨年から計画している高齢者サロンですが、開催の目途が立たないままになっています。

一日も早く開始したいと、スタッフ一同気をもんでいます。コロナ感染の拡大が収まり安心して集まることができる日はもう少し先になりそうです。

スタッフ一同、サロンが開催される日を待っています。



見守りマップと災害時支援マップ作り

深堀では各町内毎に、高齢の一人暮らしや、夫婦ともに高齢となった皆さんが住み慣れた我が家で、一日でも長く住み続けることができるようお隣同士の見守り活動を進めています。

元気にしていても、何時どんな病気やけがに見舞われるか分かりません。お隣同士が少しお互いに気を付け合って、何か気になるときは自治会長か、民生児童委員に連絡してあげることによって安心を保つ取り組みです。

深堀再発見事業「フォトコンテスト」を開催

去る8月2日から9月15日迄、「あなたの好きな深堀の街角風景」と題して、町内から多くの写真を応募して頂きました。応募作品の中から、14点を選考して来年のカレンダーを作成します。

深堀カレンダーも、皆さんの住んでいる深堀の、何気ない風景を切り取ってこれまで作成してきましたが、まちづくりの一環として、自分の住む深堀に関心を持っていただきたいとの思いからです。

当たり前の見慣れた風景も、レンズを通して見ることで、新たな気づきがあるかもしれません。

過去のカレンダーの1部



今年もふれあい広場にイルミネーション点灯を計画

今年も11月24、25日にボランティアで飾りつけを行い、26日（金）に大勢に集まって頂き、点灯式を行う予定です。回を重ねるごとに飾りつけも多くなり、冬のふれあい広場が華やかです。

写真は令和2年の点灯式の写真です。

当日は天気にも恵まれ、約100名程の参加者で点灯式のカウントダウンを行い約1か月間の、ふれあい広場の冬を楽しく彩ることができました。



昨年より今年の冬はもっと頑張るぞ

コロナ感染をみんなで予防しましょう

まずは基本の三密対策を徹底しましょう。



- 密閉** 部屋の中にいるときは、定期的に窓を開け空気を入れ替えましょう。
- 密集** できるだけ、人の集まる場所は避けて、買い物なども空いた時間に利用しましょう。
- 密接** 人との距離を十分とり、長い時間の会話や大勢での会食は避けましょう。

◎一人一人が自覚をもって行動すること以外に、終息の特効薬はないようです。

避難所の利用にあたっての注意

避難所の開設の確認は各自治会長か、地域センター・ふれあいセンターで確認してください。

準備するもの

- ◎2食分くらいの食事と日持ちのするパンや駄菓子類と飲料水
 - ◎常用の薬がある人は3日分位の用意とバスタオル等を用意
 - ◎各自マスクとタオルを用意してください（手指消毒は備え付けを利用可）
 - ◎腰痛などで敷物やあて物など必要な方は、ご自身で用意してください。
- 避難所は専用施設ではありませんので、皆さんの協力が何より大切です。



長崎開港四百五十年（一五七一年）

安政五箇国条約により幕府が外国貿易港と定め開港した五つの港（一八五八年）

【長崎・神戸・横浜・新潟・函館】の五港

市民レベルの交流として、各都市が持ち回りで毎年開催している、「開港五都市まちづくり会議」が、今年はこちらようど長崎が開港地となりました。

深堀地区まちづくり協議会も、長崎大会の開催構成メンバーであることから、南部地区での分科会を受け持つこととしています。

内容は白亜紀から長崎開港までの「野母半島と深堀の関り」をテーマに、深堀さるく簡易コースと、開館したばかりの野母崎恐竜博物館コースを設定しています。

昨年来の新型コロナウイルス感染で、参加人員の縮小がされる中、五都市からの参加者に、長崎市中心街とは異なるまちづくりの説明ができればと思っています。

深堀地区ふれあいセンターから

長崎市が運営する「深堀地区公民館」から、町内に運営が任された「ふれあいセンター」としての活動が変わって、四年が経とうとしています。

これまでの公民館の機能を継承しながら、町内の情報発信と、町民が気軽に立ち寄れる居心地のいい環境を目指し、運営をして参りました。

まだまだ道半ばですが、職員それぞれが気軽に声をかけて頂ける環境を目指して努力いたします。これからも情報収集と、発信の場所として活用ください。